

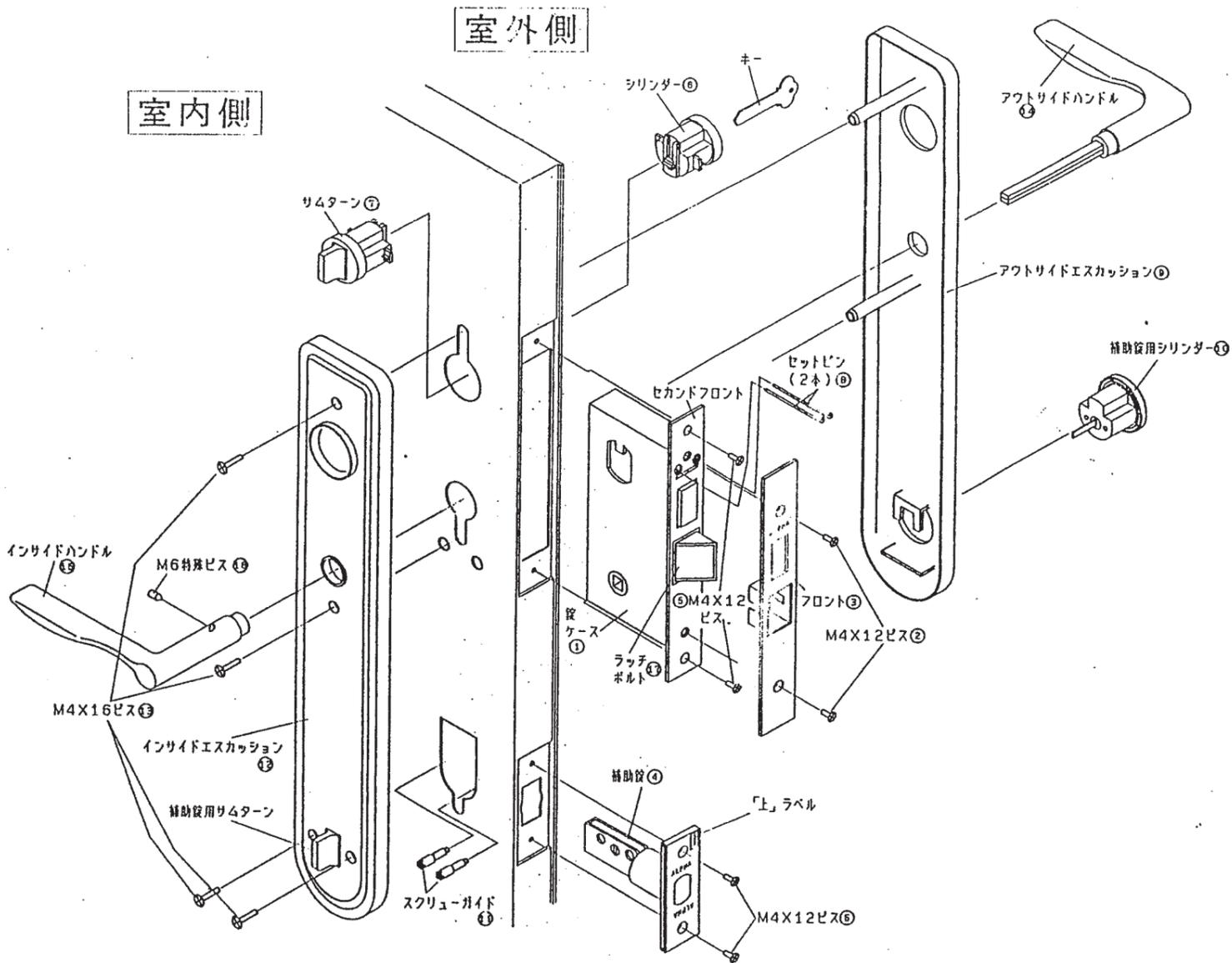
取付順序

- 手順1. 錠ケース①のビス②を緩め、フロント③を外して下さい。
- 手順2. 錠ケース①と補助錠④をドアに差し込み、M4×12ビス⑤で固定して下さい。  
(注) 補助錠④は「上」ラベル側を上に向けて下さい。
- 手順3. 室外側にシリンダー⑥、室内側にサムターン⑦を取付け、錠ケース①のセカンドフロントから、セットピン⑧を差し込んで固定して下さい。  
(注) 取付時は必ずシリンダーからキーを抜いておいて下さい。  
サムターンは解錠時縦向き、施錠時横向きとなる様に取付けて下さい。
- 手順4. フロント③をセカンドフロントに合わせ、M4×12ビス②で固定して下さい。
- 手順5. アウトサイドエスカッション⑨を室外側からドアに当て、補助錠用シリンダー⑩を差し込んだ後、スクリューガイド⑪を取付けて下さい。  
(注) 取付時は必ずシリンダーからキーを抜いておいて下さい。
- 手順6. 室内側からインサイドエスカッション⑫をドアに当て、M4×16ビス⑬で仮止めして下さい。  
(注) 補助錠用サムターンは解錠時縦向き、施錠時横向きとなる様に取付けて下さい。
- 手順7. アウトサイドハンドル⑭、インサイドハンドル⑮を差し込み、M6特殊ビス⑯で仮止めして下さい。
- 手順8. インサイドエスカッション⑫を仮止めしておいたビスを⑰強く締めた後、アウトサイドハンドル⑭、インサイドハンドル⑮をもう一度いっぱいまで差し込み直し、M6特殊ビス⑯を強く締めて固定して下さい。
- 手順9. アウトサイドハンドル⑭及びインサイドハンドル⑮を回転させ、ラッチボルト⑱が正常に作動する事を確認して下さい。作動調整が必要な場合は、一度各ビスを緩めてから再確認して下さい。

ドアが左勝手の時

- 錠ケース①のラッチボルトは出荷時右勝手に合わせてあります。  
左勝手に御使用の場合はフロント③を外した際に、ラッチボルトを180度回転させてから取付けて下さい。
- アウトサイドハンドル⑭は室内側に、インサイドハンドル⑮及びビス⑯は、室外側に取付けて下さい。(図と逆になります。)

取付図は右勝手状態を表しています。



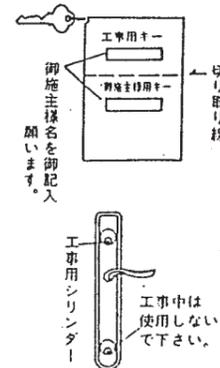
工事用キーと御施主様用キーについて(コンストラクション装置付)

キーの安全管理の為、上側シリンダー内に、コンストラクション装置を装着しています。  
(コンストラクション装置)工事中は、「工事用キー」を使用し、工事終了後に御施主様が「御施主様用キー」を使用すると、「工事用キー」では、解錠出来なくなり御施主様の安全を守るシステムです。  
1. 部品箱に「御施主様用キー」3本と、「工事用キー」1本が台紙付で入っています。  
2. 台紙に印名を2カ所御記入下さい。  
3. 「御施主様用キー」は、工事完了する迄絶対に開封しないで下さい。  
工事中は、「工事用キー」にて上側シリンダーのみ御使用下さい。  
※工事中は下側シリンダーのシールをはがさないで下さい。

使用手順

御施主様印名を前もって必ず台紙に御記入下さい。

1. 右図台紙より「工事用キー」の部分を持ち離し、工事中は「工事用キー」で上側シリンダーのみを使い施解錠して下さい。  
※下側シリンダーに貼ってあるシールをはがさないで下さい。
2. 切り離した「御施主様用キー」は御施主様に渡す迄、開封しないで別途保管して下さい。
3. 工事終了後、下側シリンダーのシールをはがし、今迄未使用であったことを御施主様に確認して頂き、「御施主様用キー」を御施主様に開封して貰い上下シリンダー共施解錠操作をして下さい。  
この時上側シリンダーのコンストラクション装置が解除され、今迄使用していた「工事用キー」が使えないのを確認して頂き「工事用キー」は破損して下さい。



製造元  
株式会社アルファ  
販売: 東京都渋谷区南平町2-17  
本部: 目黒区南平台ビル6F  
TEL 03-3461-8461 (代)  
FAX 03-3462-0507

販売元  
株式会社 桂  
本社・大阪府大阪市中央区東心斎橋  
1丁目7番25号  
TEL 06-245-3333